

新型コロナウイルスをめぐる最新の動き(5月26日付)

在モンリオール日本国総領事館

●当館管轄州における感染者数等の現状(5月26日(火)15時現在, 各州政府 HP・記者会見から引用)

	陽性*	死亡	現状の感染者数**	検査済(陰性)	入院者数
QC	48598 (+614)	4139 (+70)	29460 (+199)	353036 (+5638)	1403 (-22) (内 ICU 患者:181 (+2))
(MTL)	24388 (+272)	2584 (+26)	-	-	-
NB	122 (+1)	0 (0)	2 (+1)	22920 (+348) ***	0 (0)
NS	1052 (+1)	59 (+1)	17 (-2)	38999 (+541)	7 (+1) (内 ICU 患者:3 (0))
PEI	27 (0)	0 (0)	0 (0)	5705 (+376)	0 (0)
NL	260 (0)	3 (0)	2 (-1)	11495 (+148) ***	1 (-2) (内 ICU 患者:0 (-1))

(注: 括弧内は前日比)

*当館管轄州は「確定」「推定」の分類ではなく、「陽性(Positive)」「陰性(Negative)」のみの分類表記。但、ケベック州は確定数。

**「現状の感染者数」は、「累計陽性者数」から「治癒者数」と「死亡者数」を差し引いた数(=Active cases)。

***陽性数も含めた検査数の合計を表示していることに留意。

1 当館からのお知らせ等

◎(5月22日)伊澤総領事からのメッセージ

気候も快適になり、カナダは一年で一番良い季節を迎えつつありますが、皆様如何お過ごしでしょうか。依然として感染拡大が続くモンリオールですが、ケベック州政府は、来週以降、徐々に社会経済活動を再開させて行きます。来週からは通りに面した商店も再開されます。既にここ数日、以前よりも多くの市民が街に出てきているように感じます。自主隔離生活も長期になり、閉塞感のあるこの不便な状況から解放されたい気持ちは理解できますし、街に活気が戻ってくるのも楽しみです。既に感染が落ちついている大西洋州で制限解除が進むのも当然でしょう。その一方、抑制されつつあるとはいえ、依然として毎日数百名の感染者が出ているモンリオールにおいて、この時点で活動制限を緩めていくことが、感染にどのような影響を及ぼしていくのか見極めが必要だと思えます。

今後感染がどのようなようになっていくのか予断は難しいですが、ケベックについて言えば、先般州の研究所が公表した見通しにもある通り、残念ながら感染が早期に収束する見通しは少なさそうです。しかも制限解除によって市民間の接触も格段に増えることとなります。従って、今後しばらくの間、日常生活において、私たちはウイルスとの共生を余儀なくされることになると思えます。その期間がどれ程になるのかわかりません。ケベックに住む私たちは、長期戦の覚悟で、ビジネスの仕方やお子様の就学等様々な面で、今後の生活を考えていく必要があります。

総領事館の活動は従来通りですが、まずは、来週以降の制限の段階的解除がどのような状況になるのか集中してフォローしていきます。これまで以上に街に市民が出てきますので、皆様におかれましても、十分な予防措置を講じて頂きたいと思えます。

◎(随時更新)当館管轄州が発表した規制緩和プランの概要を当館 HP に掲載しています。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/recovery_plans.pdf

◎(5月21日)エアカナダ社HPによれば、モントリオール・成田間の同社直行便の運休を、7月30日まで延長することのことですので、ご注意ください。

<https://www.aircanada.com/ca/en/aco/home/book/travel-news-and-updates/2020/china-travel.html#/pacific-4>

(随時更新)日本とカナダの間のフライトは頻繁に変更されています。在カナダ日本国大使館 HP では「日本・カナダ間の渡航に関する情報」を随時更新しておりますのでご参照ください。

https://www.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Covid19_20200330.html

◎(5月21日)新型コロナウイルス感染症への対応に関する外国プレス向け記者会見(第11回:概要)

<https://www.youtube.com/watch?v=NZ5avMbOUTw>

◎(5月8日)ケベック州保健研究所 (INSPQ)による「ケベック州における隔離解除戦略:予測」

<https://www.inspq.qc.ca/covid-19/donnees/projections/deconfinement>

ケベック州保健研究所が、同州における隔離解除の影響について、ラヴァル大学と共同で行った予測(「ケベック州における隔離解除戦略:予測 (Stratégies de déconfinement au Québec : projections)」)を発表。

いずれのシナリオでも、モントリオール圏では今後数カ月感染が継続する見通しであり、モントリオール圏でのウイルス感染収束が見通せない状況にあると予測。

※ 当該予測値には未確認のケース(検査をしていない、症状があらわれない等)も含まれていることから、州政府が公式に発表している統計上の確定値よりも、数値が5倍程度高くなっていることに留意が必要(例えば、現在隔離措置の下にあるモントリオール圏の5月12日付(確定)新規感染者数は約600人であるが、当該予測値では同じ状況で5月の一日平均は2400~3500人と算出している)。

【ポイント】(当館作成概要:https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512_Modeling.pdf)

- モントリオール圏では、いずれのシナリオでも、今後数カ月感染が継続していく。
- 当該モデルは「モントリオール圏(Grand Montreal: モントリオール、ラヴァル、モンテレジ、ラノディエール、ロレンシャン)」と「その他の地域」に分けて予測。
- モントリオール圏において、現時点で隔離解除した場合、新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに急激に増加する可能性があり、感染者数は6月初めから一日1万人以上になる等と予測。
- また、同圏で隔離を継続した場合でも、悲観的シナリオでは新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに増加を続け、8月には一日の新規感染者数は平均9千人に達すると予測。(楽観的シナリオでは4月~5月に頭打ちとなり、以後徐々に減少。それでも8月を越えて感染は継続していく。)
- その他の地域については、隔離措置を継続した場合減少し、隔離解除した場合でも一定か、増えても僅か。

◎(5月6日)モントリオール・アカデミー会による COVID-19 関連情報

当会有志による COVID-19 パンデミックにおける邦人支援プロジェクトの一環として、当会に所属している様々な分野のエキスパートが、COVID-19 に関する医療健康情報を日本語で随時発信しています。以下をご参考。

URL: <https://www.montreal-academy.com/covid-19> (モントリオール・アカデミー会幹事 佐藤宏明)

(注)COVID-19に関する研究は日々更新しております。当サイトの記事については、できる限りの努力をしていますが、その正確性、最新性、適切性に関して第三者に担保されるものではありません。また利用者の皆様が当サイトの情報を用いて行う一切の行為について、記事の投稿者と所属施設、アカデミー会、及び在モンリオール総領事館は、いかなる責任も負いません。

◎(随時更新)各州政府および当地報道発表による感染データの数値をもとに、状況の推移を把握するためのグラフを作成しましたので、ご参照ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/graph.pdf>

◎当地で疑わしい症状が出た場合に自分でどういった対応をとるべきか等について、ケベック州が対応ガイド(Self-care Guide)を掲載していますので、万が一の際に参考にしてください。

https://cdn-contenu.quebec.ca/cdn-contenu/sante/documents/Problemes_de_sante/19-210-30A_Guide-auto-soins_anglais.pdf?1584985885

2 新型コロナウイルスに係る当館管轄州の報道ぶり

※以下の情報は、報道ベースのものであり、当館が情報の正確性について保証するものではありません。

【1 カナダ全般】

(1)(26日)11時15分、トルドー首相が定例記者会見を行ったところ、要旨以下のとおり。

- カナダは数百万の医療用ガウン、マスク、手袋などの医療防護具を受け取った。
- 連邦政府は1000万のマスク生産についてGMと契約を交わした。

【2 ケベック州】

(1)(26日)13時40分、フィッツギボン経済・イノベーション大臣が記者会見を行ったところ、要旨以下のとおり。

●(モンリオール圏及びジヨリエット以外の)ケベック州全域におけるショッピングモール再開について再度確認。特に次の措置に留意すること。

- －年内及びショッピングモール内での顧客人数の制限。
- －レジやレストランでの隔壁の設置。
- －フードコートではテイクアウトのみ。
- －店内での一方通行。
- －2メートルの対人距離。マスク着用を奨励。
- －現場におけるセキュリティ担当者の配置。

●家賃の支払いを理由とした(賃借者たる)小売店やレストラン締め出しを停止させるべく、コロナ危機中に州政府は必要な措置を講じる。そのため物件所有者が連邦政府による緊急補助プログラムに申請するよう奨励する。

(2)(26日)コロナ危機の影響を受け、ケベック州の航空産業で約1千人の職が失われる。内訳、エアバス社 347 人、Pratt & Whitney :343 人、Héroux-Devtek : 125 人、三菱航空機 : 50 人など。

Près de 1000 postes perdus en aéronautique

<https://www.journaldemontreal.com/2020/05/26/pres-de-1000postes-perdus-en-aeronautique>

<https://www.cbc.ca/news/canada/nova-scotia/day-surgeries-lab-work-ramp-up-nova-scotia-covid-19-1.5584892>

(3) (26日) Nova Scotians' satisfaction with the overall performance of the Liberal government led by Premier Stephen McNeil has reached a record high of 77 percent this quarter.

New poll shows support for Liberals and Premier Stephen McNeil surges to record high

<https://www.halifaxtoday.ca/local-news/new-poll-shows-support-for-liberals-and-premier-stephen-mcneil-surges-to-record-high-2377340>

【4 ニューブランズウィック州, プリンズエドワードアイランド州, ニューファンドランド・ラブラドール州】

ニューブランズウィック州

特になし。

プリンズエドワードアイランド州

(26日) PEI will start accepting applications for seasonal residents to come to the province June 1; the process will include a risk assessment. Details to come before the end of the week.

COVID-19 on P.E.I.: What's happening Tuesday, May 26

<https://www.cbc.ca/news/canada/prince-edward-island/pei-covid-19-tuesday-may-26-1.5584574>

ニューファンドランド・ラブラドール州

(26日) **Schools to Open for Teachers But Remain Closed for Students; Update on Conclusion of School Year**

<https://www.gov.nl.ca/releases/2020/eecd/0525n08/>

(了)